

ピックアップ事例



ちようかいネット（平成23年稼働）

酒田地区医療情報ネットワーク協議会（山形県）
鶴岡地区医療情報ネットワーク協議会（山形県）

☎ 0234-26-5112（酒田地区） 0235-26-5111（鶴岡地区）

🌐 [公式ホームページ](#)

※平成31年3月時点

全体概要

- 概要
- 特徴
- 成功要因
- ネットワーク構築時の苦労
- 構築する方へのメッセージ

計画Step

1. 地域課題、要求事項の抽出
2. 必要性の検討
3. 事業概要の決定
4. 事業運営主体の組織の設置
5. 個人情報保護方針などの作成
6. ガイドライン・標準化規格などの確認
7. システム化方針決定
8. 事業計画・収支計画の立案

構築Step

1. 工程管理
2. 仕様書作成・調達
3. 要件定義・設計
4. 構築
5. テスト

運用Step

1. 運用に向けた文書作成
2. システム運用保守体制決定

計画Step

1. 地域課題、要求事項の抽出

庄内地域に従業地を有する医師数は、人口 10万人当たり 194.1 人で県全体を下回っている。また、診療科別に見てもいずれの診療科も県全体より下回っている状況である（厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査」より）。そのため、限られた医療資源を各施設が役割分担に基づき、シームレスに連携する必要性が高まっていた。

各医療機関でインフラが整備され、院内での電子的な情報共有が進んでいた反面、地域の医療連携は依然として紙ベース・資料ベースであったため、ICTによる効率化を目指すことを目標に掲げ、道南 Medika（北海道）、あじさいネット（長崎県）等の先進事例を参考に、同地域の課題が医療情報ネットワークで解決可能であると考えた。

鶴岡地区においては、2000年から運用のNet 4 Uのユーザーである同地域の診療所が、同システム上から情報開示病院のカルテに容易にアクセスが可能となり閲覧できるメリットがあった。Net 4 Uは医療と介護などの多職種間の連携を支援するツールであるが、ID-Linkに参加することでその機能の強化が図られることを期待した。

【酒田地区】

- ・限られた医療資源を各施設が役割分担に基づき、シームレスに連携する必要性が高まっていた。
- ・中核病院と地区医師会同士の交流が積極的にされてきた背景もあり、資源不足の課題が地域で共有されていた。
- ・地域の高齢化が進む中で、自身の病気や治療の状況を正確に把握できていない患者が増加していた。

【鶴岡地区】

- ・地域全体で一貫した連携医療を行う環境が必要であった。
- ・地区医師会が回復期の病院・居宅介護支援事業所・訪問看護ステーション・検査センターを運営するなど地域の医療・介護の基盤を担ってきた背景から、医療介護連携の推進が課題となっていた。
- ・酒田地区が先行してちようかいネットを導入した背景から、地域の医療資源の有効活用という点も考慮された。

- 3. 参加機関の募集・説明・契約
- 4. 参加患者募集
- 5. 評価・課題整理

更改Step

- 1. 改善事項検討

2. 医療情報連携ネットワークの必要性の検討

【酒田地区】

・地域中核病院・診療所とのヒューマンネットワークは構築されていたものの、効率的な地域医療連携が活発だったとはいえない面もあった。

・第三次救急医療を行う日本海総合病院においては、重症で緊急性の高い患者への迅速な受入体制整備の必要があり、搬送元の医療機関からのICTを活用したリアルタイムな患者情報の取得が求められた。

・ちようかいネットは当初から調剤薬局、訪問介護ステーション、介護施設等との情報共有を視野に入れ、段階的に拡大することを計画していた。

【鶴岡地区】

・当地域がOPTIM（がん緩和ケア普及のための地域プロジェクト）に選定されたことを機に、地区医師会が中心となり、多職種連携の議論が10年以上前からなされ、継続した活動がなされてきていた。

・2000年に当地区独自に構築したNet4Uを、より多職種連携のためのソーシャル・ネットワーキング・サービスとして2012年に全面改訂するなど、医療介護資源の有効活用にあたってICTの活用の議論が継続的になされていた。

・「Net4Uに情報登録することで医療介護情報の連携は行われていたが、医療情報連携ネットワークによって電子カルテの閲覧ができることで、情報連携をさらに推進することが期待された。

・鶴岡地区の診療所は荘内病院との医療連携が主で、同病院もNet4Uに参加していた。しかし、電子カルテから自動で情報登録する機能がないなどの課題があった。ちようかいネットに参加することで、Net4Uを利用する診療所が荘内病院の患者情報を閲覧できるメリットが生まれるため、参入の検討を開始した。

3. 事業概要の決定

【システム面において】

- ・電子カルテの診療録を開示する
- ・USBメモリおよび紙ベースで運用している地域連携パスを電子化する

【運用面において】

- ・利用にあたって特別なソフトウェアや回線工事を必要としない
- ・利用手続き等はなるべくシンプルにし、利用料は徴収しない

【開示するコンテンツの想定】

- ・診療録（医師記録）、処方、注射、患者バイタル
- ・入院サマリー（退院時要約）
- ・放射線画像
 - CT・MR（JPEGとDICOM）単純X-P、核医学検査
 - PET-CT、シネアンジオ（動画で参照可）
- ・放射線読影レポート（キーフィルム添付）
- ・検体検査、細菌検査、病理報告書（切出しの病理画像添付）
- ・紹介状
- ・地域連携パスなどのファイル（Excel・Word）

（2019年現在では上記に追加して）

- ・看護サマリー
- ・内視鏡画像
- ・心電図

4. 事業運営主体の組織の設置

【酒田地区】

意思決定機能：酒田地区医療情報ネットワーク協議会

事務局機能：日本海総合病院

機能等要件決定機能：酒田地区医療情報ネットワーク協議会

【鶴岡地区】

意思決定機能：鶴岡地区医療情報ネットワーク協議会

事務局機能：鶴岡市立荘内病院・鶴岡地区医師会（平成29年まで2事務局で運営）

機能等要件決定機能：鶴岡地区医療情報ネットワーク協議会

医療情報ネットワーク協議会の設置

- ・酒田地区医療情報ネットワーク協議会
- ・鶴岡地区医療情報ネットワーク協議会

5. 個人情報保護方針などの作成

権限による制限の考え方としては、施設単位での閲覧許可とし、患者本人による制限の可否とその内容については、患者が指定した施設のみ閲覧可能とした。これらはネットワークの運用規程に明記された。また、個人情報保護方針は、各自治体の個人情報保護条例に拠るものとした。

【酒田地区】

酒田地区医療情報ネットワーク運用規程に明記

【鶴岡地区】

鶴岡地区医療情報ネットワーク運用規程に明記

施設ごとに同意書の提出を求めるための個別同意に関する届出書は以下のものを作成した。

- ・ちようかいネット医療施設指定届出書(医療用)
- ・ちようかいネット医療施設指定届出書(介護用)

ちようかいネット医療施設指定届出書(医療用)

ちようかいネット参加申込書兼利用同意書（医療）

私は、ちようかいネットに関して、その目的及び利用方法などを理解しましたので、ちようかいネットに参加し、私の診療情報（過去データを含む）が以下の指定医療・介護福祉施設で私の受ける共同診療に活用されることに同意し、申し込みます。

※ この申込書兼同意書を撤回したい場合には、撤回届出書をちようかいネット事務局又は指定した医療・介護福祉施設に提出願います。

【患者様記載欄】

申 込 年 月 日	平成 29年 X月 X日		
フリガナ	ニホンカイ タロウ		性 別
患者氏名（自署）	日本海 太郎		
生 年 月 日	明治・大正・昭和	平成	2年 3月 7日
住 所	〒 酒田市 XX ○丁目 X-X	電話番号	0234-XX-ZZXX
代理人記載の場合 代理人氏名（自署）	日本海 花子	続 柄	妻

【医療施設記載欄】

		下記は同意書取得施設で記載	自院 ID を記入してください
医 療 施設 名	テスト診療所	(担当医師)	テスト医師
		(患者 ID	000XXX)
情 報 共 有 医 療 施 設	<input checked="" type="checkbox"/> 日本海総合病院・日本海酒田ハビリテーション病院	(患者 ID 有・無	0000XXXX)
	<input type="checkbox"/> 本間病院・のぞみ診療所・高見台クリニック	(患者 ID 有・無)
	<input checked="" type="checkbox"/> 鶴岡市立荘内病院	(患者 ID 有・無)
	<input type="checkbox"/> Net4U (施設名:)	(患者 ID 有・無)
	<input type="checkbox"/> 庄内余目病院	(患者 ID 有・無)
	<input type="checkbox"/> 庄内検診センター (酒田市・遊佐町・庄内町国保)	(患者 ID 有・無)
	<input type="checkbox"/> 山形県立中央病院	(患者 ID 有・無)
	<input type="checkbox"/> _____	(患者 ID 有・無)

ID 不明の場
合は有に○
だけで構い
ません

※ 確実な患者本人確認のために、各医療機関の患者 ID 番号を記載してください。

【ちようかいネット事務局】

酒田地区 日本海総合病院内事務局 TEL: 0234-26-2001 FAX: 0234-26-5112
(緊急時 TEL: 0234-26-5112)
鶴岡地区 鶴岡市立荘内病院内事務局 TEL: 0235-26-5111 FAX: 0235-26-5156

※担当者は、担当事務局に FAX 送信後、原本を担当事務局に送付し、コピーを保存して下さい。

電 話 番 号	0234-XX-XXXX	FAX 送信者氏名	テスト 一郎
---------	--------------	-----------	--------

<input type="checkbox"/> 至急登録	至急時は FAX 送信後、事務局へ電話連絡をお願いいたします。 ※同意書の FAX 受付時間は平日 8:30 ~ 17:00 までとなります。
-------------------------------	--

ちようかいネット参加申込書兼利用同意書（介護）

私は、ちようかいネットに関して、その目的及び利用方法などを理解しましたので、ちようかいネットに参加し、私の診療情報（過去データを含む）が以下の指定医療・介護福祉施設で私の受ける共同診療に活用されることに同意し、申し込みます。

※ この申込書兼同意書を撤回したい場合には、撤回届出書をちようかいネット事務局又は指定した医療・介護福祉施設に提出願います。

【患者様記載欄】

申 込 年 月 日	平成 年 月 日		
フリガナ		性別	男 ・ 女
患者氏名（自署）			
生 年 月 日	明治・大正・昭和・平成 年 月 日		
住 所	〒	電話番号	
代理人記載の場合 代理人氏名（自署）		続 柄	

【介護福祉施設記載欄】

法人事業所名 代表者名		(担当者) ㊟ (患者ID) ㊟
情 報	<input type="checkbox"/> 日本海総合病院・日本海酒田リハビリテーション病院(患者ID 有・無)	()
共 有	<input type="checkbox"/> 本間病院・のぞみ診療所・高見台クリニック (患者ID 有・無)	()
医 療	<input type="checkbox"/> 鶴岡市立荘内病院 (患者ID 有・無)	()
施 設	<input type="checkbox"/> Net4U(施設名:) (患者ID 有・無)	()
	<input type="checkbox"/> 庄内余目病院 (患者ID 有・無)	()
	<input type="checkbox"/> 庄内検診センター(酒田市・遊佐町・庄内町国保) (患者ID 有・無)	()
	<input type="checkbox"/> 山形県立中央病院 (患者ID 有・無)	()
	<input type="checkbox"/> (患者ID 有・無)	()

※ 確実な患者本人確認のために、各医療機関の患者ID番号を記載してください。

【ちようかいネット事務局】

酒田地区 日本海総合病院内事務局 TEL: 0234-26-2001 FAX: 0234-26-5112

鶴岡地区 鶴岡市立荘内病院内事務局 TEL: 0235-26-5111 FAX: 0235-26-5156

※担当者は、担当事務局にFAX送信後、原本を担当事務局に送付し、コピーを保存して下さい。

電 話 番 号		FAX送信者氏名	
---------	--	----------	--

※同意書のFAX受付時間は平日8:30～17:00までとなります。

6.ガイドライン・標準化規格などの確認

「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン 第5版」に準拠するものとした。

7. システム化方針決定

データ連携方式として、リンク型（各機関のシステムを中央でリンクさせ相互に参照し合う、リポジトリ方式）を採用することとした。

ネットワークの核となるID-Link導入については、平成22年5月に酒田地区医療情報ネットワーク協議会を設立し、酒田地区医師会、酒田地区歯科医師会、酒田地区薬剤師会、県庄内総合支庁保健企画課、酒田市健康福祉部健康課、日本海総合病院、酒田医療センター、本間病院、八幡病院が参加。部会として地域医療連携パス検討委員会、システム構築検討委員会を設置した。

システム構築検討委員会では情報の開示方法、内容について協議し、検討結果を元に仕様書を作成、協議会にて承認された。

平成22年9月に入札を行い、ID-Linkの導入が正式決定されたことにより、協議会事務局において管理規程・マニュアルの検討を開始。地域医療連携パス検討委員会にてID-Linkを利用したパス運用の検討を開始。また、利用者説明会の実施、システム環境の調整・確認などが順次進められた。

8. 事業計画・収支計画立案

全体プロセスとしての事業計画は以下の通りである。

予算申請：平成22年5月
運営主体組織化：平成22年5月
機能検討開始：平成22年5月
事業者決定：平成22年9月
施設募集開始：平成23年1月
患者募集開始：平成23年1月
システム運用開始：平成23年4月

【酒田地区】

初期費用合計：29,925千円
初期費用の負担者：地域医療再生基金
初期費用の対象期間：1年間（H22年）

【鶴岡地区】

初期費用合計：40,105千円
初期費用の負担者：地域医療再生基金

各医療機関における導入費用は以下の通りである。

導入費用の内訳

	公開用 サーバ	PACS 関連	接続 関連	ネット ワーク	雑・消 費税	合計	電子カルテ
日本海総合病院	10,000	1,000	3,900	1,000	1,425	17,325	MIRAIs/PX (CSI)
本間病院	8,000		2,400	1,000	1,200	12,600	MIRAIs/EX (東芝)
荘内病院	17,600	9,596	(サーバ に含む)	1,000	2,105	30,301	MegaOak HR (NEC)
Net4U	9,422				471	9,893	Net4U (スリット)
日本海酒田リハ病院	—					—	MIRAIs/PX (CSI)
庄内余目病院	13,120	498	6,688	110	1,021	21,437	e-カルテ (SSI)
庄内検診センター	10,000	8,600	2,000		2,944	23,544	—
合計	68,142	19,694	14,988	3,110	9,166	115,100	

(単位 千円)

› 全体概要 ‹ 計画Step ‹ 構築Step ‹ 運用Step ‹ 更改Step

‹ ピックアップ事例一覧へ戻る

▶ 医療情報連携ネットワークはなぜ必要？

- ▶ 出発点は地域医療を良くしたいという思い
- ▶ 医療情報連携ネットワークの導入効果
- ▶ 利用者の声（導入効果）

▶ 医療情報連携ネットワークをどう作る？

- ▶ 医療情報連携ネットワークの構築手順
- ▶ 実施のポイント
- ▶ 利用者の声（苦労した点、成功要因）
- ▶ ガイドライン、書式例など

▶ 医療情報連携ネットワークの具体例を見る

▶ 医療情報連携ネットワークとは

- ▶ データで見る
- ▶ ピックアップ事例
- ▶ 事例を探す

▶ 構築手順

- ▶ 構築手順について
- ▶ Step1：計画
- ▶ Step2：構築
- ▶ Step3：運用
- ▶ Step4：更改

▶ FAQ

- ▶ 用語集
- ▶ お役立ち情報
- ▶ リンク集
- ▶ 資料ダウンロード